

自分の健康は自分で守る

“自分の健康は自分で注意して守る”のは当然です。しかし、いったん病気になってしまった場合はそれぞれの専門家にゆだねることが必要です。どんな病気なのか?どの程度のなのか?まず相談するのはどなたでしょうか?かかりつけの医師、紹介された病院、あるいはかかりつけの薬局の薬剤師など考えられます。

しかし、どなたに相談しても、自身が納得し、“自身の判断で行動することが健康を自分で守る”第一歩です。それは、自分が選んだ方向だから、信頼し疑問は質問し解決していけるから納得できるのだと思います。

今は、医師の専門診療科も細分化され、より専門的な治療が受けられる様になり、以前には考えられないような病気まで治療できるようになりました。

その中で、薬に関しても分業化が進み、処方せんが発行され、それを薬局で調剤し、薬に関するいろいろな情報を教えてもらい治療に役立てることが出来ます。処方せんは、どこの薬局でも調剤できまが、ご自身が信頼している薬剤師がいる薬局を「かかりつけ薬局」と決め、そこで、薬に関する情報を整理してもらい役立てることも“自身の健康は自分で守る”方法のひとつです。